

# あずま<sup>しい</sup>Cていね

前田・新発寒

富丘西宮の沢

ていね区生活応援ボランティアグループ「コルリ」のメンバーにお話をうかがいました。

**Q. 石墨さん、磯川さん、ボランティア活動を始めたきっかけを教えてください。**

（石墨さん）「退職後の生活リズムづくりのためです。全く知らない世界だったけれどボランティア講座を受講しました。その後、施設での活動から個人支援まで、様々に行く＜手稲ふれあいボランティア＞で活動し、コルリの立ち上げに関わりました。」

（磯川さん）「道外から手稲に引っ越しをして、親しい人を作りたいと思い、ボランティア講座を受講したのがきっかけです。」



**Q. 現在は、お話し相手のボランティア活動をされていますが、活動中に大事にしている事を教えてください。**

「ボランティアをしながら、自分もその時間を楽しむ事が大事です。活動時に話してくれる方は、人生の先輩です。話を聞くと、自分の近い将来の暮らし方の参考になります。相手が話してくれる時間は、相手にとって大切な時間です。聞き役になり、話してもらいやすい雰囲気づくりをする事が大切だと思います。」



▲ インタビューの様子です。  
左が石墨さん、右が磯川さんです。

**Q. 今後、コルリの活動を含め、地域でどのような事が大切でしょうか？**

「かつて、自分たちが仕事や子育てで忙しかった時、地域の方にお世話になりました。お互いさまの気持ちをもって、隣近所のお付き合いをする事が大切だと思います。また、コルリのメンバー同士も支え合っていきたいです。」

コロナ禍で出来ない事も増えているけれど、落ち着いたたらすぐに動けるように、体力を維持し、心の備えも大切です！」

生活応援ボランティアグループ「コルリ」では、話し相手・ゴミ出しなどの＜家事援助＞、散歩・買い物などの＜外出支援＞などを行っています。「コルリ」を利用したい方、活動に興味がある方は、ぜひ本会までご連絡ください。





# 生活支援コーディネーター見て歩記

**12月9日 新発寒地区福祉のまち推進センター主催で行われた「江戸寄席芸を楽しむ集い」を訪問しました。**

当日は、地域住民・関係者 56 名が参加されました。新型コロナウイルス感染症対策のため、福祉のまち推進センターの方が受付で参加者の体温を測定し、体調不良などが無いかを確認していました。また、鑑賞する座席の間隔を広く空けるなど、感染症対策を徹底して行っていました。



▲参加者は、全員入り口で手指消毒をしたのち体温を測定し入場しました。



▲宝玉齋こん太一座の芸の数々にみなさん大きな拍手を送っていました。座席の間隔もしっかり保っています。



▲紙切りを披露されました。参加者からのリクエストに応じてクリスマスツリーを即興で作りました。

久しぶりに多くの方が集まる行事に訪問することができ、参加者の楽しそうな姿を見て嬉しい気持ちになりました。参加者からは、「**コロナ禍でストレスが溜まっていた。今日の鑑賞会を見てまた頑張ろうと思えた**」「**最近、楽しいことがあまり無かったので今日はとっても楽しかった！また見に来たい！**」という声が聞かれました。

コロナ禍でも上手に感染症対策をしながら、楽しい集いの場が増えるといいなと思っています。(生活支援コーディネーター 加藤)

生活支援等サービス・居場所に関する社会資源一覧表 手稲



社会福祉法人 札幌市手稲区社会福祉協議会

住所 札幌市手稲区前田 1 条 11 丁目 手稲区民センター1 階

電話 (011)681-2644 FAX (011)684-8560

手稲区社協ホームページ [https://www.sapporo-](https://www.sapporo-shakyo.or.jp/about/teine-shakyo/)

[shakyo.or.jp/about/teine-shakyo/](https://www.sapporo-shakyo.or.jp/about/teine-shakyo/)